



100
年

テスコンN01テープ

プロクリマで継続的な気密！
100年の製品寿命試験を行いました

- ・ 厳しい劣化処理後の耐久性試験
- ・ 公的機関による証明
- ・ 必要条件を大きく上回る耐久性

→ 断熱と気密が50年以上機能することの必要性

DIN 4108-7、SIA 180またはOENORM B 8110-2に準拠した気密性を実現するための接着接続には50～100年の耐久性が必要です。これは断熱構造に期待される耐用年数であり、対流から生じる湿気浸入による損傷から構造を確実に保護する必要があるためです。50年代、60年代、70年代の建築物の気密性が現在最適化されつつあり、断熱材も現在の建築要件を満たすものに置き換えられているため、50～100年という期間は現実的です。

→ 通常行われる製品寿命試験は期間が17年間

カッセル大学における気密層の接着剤ベースの接続技術品質保証に関する2つの研究プロジェクトの一環として、粘着テープと接着剤の加速劣化プロセスが開発され、現在、DIN4108-11に含まれています。ここでの要件は、高い気温と湿度（65℃および相対湿度80%）で120日間（現実の約17年に相当）保管した後、接着接続部分が要求される最低引張強度を満たすことであり、その場合接着性が永続的であると見なされます。

→ プロクリマの粘着テープと接着剤は100年テストに合格しています

気密接着の耐久性をテストするために、プロクリマ粘着テープTESCON VANA、UNI TAPE、TESCON No.1、および、接着剤ORCON Fを、カッセル大学で上記フレームワーク条件下で加速劣化試験にかけました。試験期間は120日から700日に延長されました。700日間の加速劣化は現実の100年に相当します。4つのプロクリマ接着製品はこの長期にわたる加速劣化プロセスに問題なく合格しました。

信頼の置けるプロクリマ製品



TESCON® **Vana**



UNI TAPE



TESCON® **No.1**



ORCON® **F**

厳しい延長試験により、DIN 4108-7、SIA 180、および、OENORM B 8110-2で要求される恒久的な気密性を確保するための適合性が、粘着テープTESCON VANA、UNI TAPE、TESCON No.1、および、接着剤ORCON Fにおいて確認されました。防湿シート、気密シート、および、気密性のある木質パネルは、プロクリマに検証可能に安全に接着することができます。